

進路だより

令和元年度 1学期
栃木県立聾学校 進路指導部
令和元年7月19日発行

1学期に進路指導部で行った主な行事を紹介します。

特別支援連携協議会 5/27(月)

午前は、福祉関係の方々や栃木県障害福祉課の方々、午後は、企業関係と労働行政関係の方々を招いて協議会を実施しました。午前は、「移行に伴う様々な課題」というテーマで話し合い、①実習で初めて聴覚障害の方を受け入れてみて、環境や作業内容が本人に合っているのかどうか、②学校の授業と施設との対応職員数の違いなどが話題に出ました。午後は、「職場定着に向けた取り組み」というテーマで話し合い、①筆談は有効な手段ではあるが、その人に合った方法の活用を選択する、②企業の中には聴覚障害者にとって安心できるキーパーソンがいて、こまめにコミュニケーションを取っているなどの報告がありました。今回、グループでの話し合いを持ち、聴覚障害の方の現場での様々な考え方を知る良い機会となりました。

中学部 進路の時間 6/11(火)



第一回目の進路の時間では、高等部の先生から、高等部の各学科について説明を受けました。実際にどんな学習をしているのか、写真を見せてもらいながら、詳しく教えていただきました。生徒たちはみな真剣に話を聞いていて、将来やりたい仕事を見据えながら、高等部への理解を深めることができたようです。

高等部 職場見学 1、2、3年AB組 6/13(木)株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー

株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニーを訪れました。ヘリコプターの点検や修理の様子を見学させていただき、仕事に対する認識を深めることができました。また、卒業生から、仕事をする上でのコミュニケーションの大切さなどを話していただき、今後の進路決定の意識付けを図ることができました。



小学部 低学年1組 進路の時間 6/25(火)



聴覚障害のある先生のお話を聞きました。聴覚障害のある大人の人や、本校を卒業した先輩たちがどんな仕事をしているのか聞いた後、将来の夢について考えました。また、将来の夢のために、今、頑張ることは何かについて確認しました。挨拶をする、学校を休まない、言われたことや時間を守る、先生に報告するなど、頑張るべきことがたくさんあることが分かりました。今回学んだことをこれからの生活で思い出しながら過ごしていきたいです。

高等部・中学部・小学部高学年1組 進路講話 6/26(水)



鹿沼相互信用金庫から、本校卒業生を招いて、講話をしていただきました。前半は、会社の業務を中心に、仕事で必要な心構えなどを話していただきました。後半は、本校生徒からの質問に対して、1つ1つ丁寧に答えていただきました。参加した、高等部17名、中学部14名、小学部高学年1組8名、保護者3名は、熱心に話に聞き入り、有意義な時間を過ごすことができました。

中学部 職場見学 1、2、3年A組 7/3(水)栃木銀行本店

最初に、担当の方から銀行の主な業務について説明をいただきました。栃木銀行で働いている先輩の方のお話も聞き、本部で、パソコンを中心としたお仕事（書類の作成や、従業員の情報の管理等）をしていると教えていただきました。

そのあと、本部の職場を見学し、各支店に送る手紙を仕分けるお仕事を体験させていただきました。生徒たちは一生懸命、手紙を仕分けることができました。

質問コーナーでは、「コミュニケーション力」「勇気をもって質問すること」「前向きな態度」が仕事をする上で大切だと教えていただきました。

見学後は「コミュニケーション力をつけられるよう頑張りたい。」「真剣に将来のことを考えようと思った。」など、それぞれの進路について前向きな感想が多く見られました。



職場見学 中学部B、C組 高等部C組 7/5(金)武子希望の家、CCV ウェルフェア



武子希望の家では、部品組立やしいたけ栽培等の作業を見学した後、本校の卒業生と話をする機会をいただきました。先輩からは、「仕事中は筆談で周りの方とやりとりをします。仕事は大変ですけど好きです。」というお話がありました。CCV ウェルフェアでは、併設のカフェにて施設内で作ったパンや野菜を使った昼食を食べました。その後、軽作業やパソコン作業の様子を見学しました。先輩の姿を見習い、今後の学習を頑張っていきたいと思います。

産業現場等における実習 6月

高等部では、社会に出て働くということの意義を知り、仕事をするときの態度等を学ぶために、校外の企業や福祉施設での実習を各学期1～2週間行っています。今回は、2・3-Cの生徒が、各生徒の居住地の福祉施設にて2週間程度の実習を行いました。1年生のときから実習を重ね、今回の実習でも自分の目標を明確にもって、日々の活動に取り組むことができました。実習先では、部品の組立やチラシの封入、箱折り、農作業等の作業に取り組みました。仕事内容の習得以外にも、仕事に必要な挨拶や報・連・相などのコミュニケーションについても、場や相手に応じた方法で実践する良い機会となりました。今回の実習でいただいた課題を、普段の生活に持ち帰り、よりよい態度やスキルを身に付けるとともに、次回の実習にも生かしていきたいと思います。

